



天文台だより

銀河の森天文台
2011 冬号
Vol. 50

プラネタリウム常設展示記念イベント

アラスカオーロラ中継成功！



プラネタリウム上映用4mエアードーム

2010年10月29日～31日の3日間、名古屋大学太陽地球環境研究所との共催イベント「太陽・オーロラウィーク2010」の目玉企画の一つとして、アラスカのオーロラ予報&中継を行いました。研究者によるオーロラ予報とプラネタリウムでの全天中継の組み合わせは日本初の試みでした。

中継は、上出洋介館長によるオーロラ予報で中継時間を決め、「遊造」古賀さん協力の下、インターネット回線を使用し、アラスカでリアルタイムに起きているオーロラの高感度全天カメラ映像をエアードーム内に投影しました。全天に映し出されたアラスカの夜空にゆらめくオーロラ映像を見た来館者からは自然と感嘆の声が上がっていました。初日、2日目はアラスカの天候が悪くオーロラは見られませんでした。最終日は晴れて開館時間中はほぼ見えていました。3日間で400人を超える来館者がオーロラ中継を観覧し、イベントは大成功でした。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

この数年間、低迷を続けていた太陽活動度が次第に高まりつつあり、今冬のオーロラには期待がもてそうな気がします。毎冬何万人もの日本人が、オーロラ見物のためアラスカやカナダ、北欧に出かけて行きますし、オーロラの講演会やイベントも多くなります。現地で全天を舞うオーロラの迫力にはかないませんが、少しでもそのフレーバーが味わえることでしょう。今号の特集にありますように、当館が主催した「太陽・オーロラウィーク2010」は、大成功をおさめたと自負しています。



(上出洋介館長)

オーロラといえば、この地球上で人間が肉眼で見ることができるもっとも美しい神秘的な現象であるといわれます。私自身、何百回かオーロラを見てきましたが、2つとして同じ色、形、動きはなく、したがって受ける感動も全部違います。別称「オーロラ科学館」ともいわれる当館を訪れ、オーロラから地球人へのメッセージを感じてください。



アラスカのオーロラ中継で解説する上出洋介館長

☆トピックス 「プラネタリウム常設上映開始！」

銀河の森天文台では2010年11月よりプラネタリウム常設上映を開始しました。

投影機は、コニカミノルタプラネタリウム社製「メディアグローブ」というデジタルプラネタリウムで、1階展示室に設置した4mエアードーム内で上映を行っています。

上映番組は時期によってかわる予定です。詳しくは天文台HP(URLは裏面に)をご覧ください。

上映日：開館日の土曜、日曜、祝日

※月曜・火曜は休館日です

上映時間：午後3時、5時、8時の3回

※1回は約30分間の上映になります

※イベント等が重なった場合、上映時間が変更になることがあります

定員：各回25名(入館者先着順)

※入館料のみで観覧できます

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:55	16:02	26.4	3:49	13:03
1月 15日	6:52	16:17	10.7	11:42	2:20
2月 1日	6:39	16:38	27.7	5:16	14:49
2月 15日	6:22	16:57	12.0	13:11	3:53
3月 1日	6:00	17:16	26.0	3:53	13:46
3月 15日	5:36	17:33	10.3	12:01	2:28

天文行事&暦

1月

- 12/30-1/5 天文台休館日
- 4 しぶんぎ座流星群が極大
(AM10時 最大30個/時)
- 新月
- 6 小寒(24節気:太陽黄経285°)
- 9 金星が西方最大離角
(光度:-4.4等, 離角:46° 57')
- 水星が西方最大離角
(光度:-0.2等, 離角:23° 17')
- 15 望遠鏡の使い方を学ぼう
- 20 ○満月
- 大寒(24節気:太陽黄経300°)

2月

- 3 ●新月
- 4 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 18 ○満月
- 19 雨水(24節気:太陽黄経330°)
- 23-3/6 冬の天の川と天体観望会

3月

- 2/23-3/6 冬の天の川と天体観望会
- 5 ●新月
- 6 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
- 20 ○満月
- 21 春分(24節気:太陽黄経0°)
- 23 水星が東方最大離角
(光度:-0.1等, 離角:18° 37')

冬のイベント情報!!

☆望遠鏡の使い方を学ぼう

望遠鏡の使い方を解説します。望遠鏡をお持ちの方は、是非ご自分の望遠鏡を持参の上ご参加下さい。

開催日時: 1月15日(土)

講習会: 午後7時から

☆冬の天の川と天体観望会

冬の大きな三角の中を通る天の川。この時期、月のない夜空ではうっすらとその姿を見ることができます。

開催日時: 2月23日(水)~3月6日(日)

説明会: 午後7時から(土曜・日曜のみ)

銀河の森天文台「感想ノート」より

☆ 開館以来、何度も足をはこびました。星が好きな長男のためです。やはり冬の星空はとてきれいですね。札幌の冬はいつも曇ってばかりでこんな素敵な空は見ることがありません。

☆ 今日遊びに出かけた帰り道、助手席の彼が「星がキレイだ」と言ったことがきっかけとなり来て見た。すると星がたくさんまたたいていた。陸別にこんな所があると思わなかった。また来ます。

☆ 星は心をなごませるなあ~。今回で4回目です。いつ来ても新鮮です。また来ますよ~

☆ 星は知るほど楽しめるものなのかもしれないな。こんなキレイな星が見れて、またいっぱいがんばろうって気になれた。

天文台からのお知らせ

☆ 12月30日(木)~1月5日(水)の期間は、天文台休館日となります。

2011年太陽系天体みどころカレンダー

○:満月 ●:新月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	○20 ●4	○18 ●3	○20 ●5	○18 ●3	○17 ●3	○16 ●2	○15 ●1,31	○14 ●29	○12 ●27	○12 ●27	○11 ●25	○10 ●25
火星	★今年の火星は、天文台開館時間中に肉眼で見えることはできません。											
水星	中旬 ■ 下旬 ■ 下旬 ■ 上旬 ■ 下旬 ■ 下旬											
木星	■ 中旬 ■ 上旬 ■											
金星	■ 中旬 ■											
土星	下旬 ■ 上旬 ■											
日	★晴れた日は毎日、太陽望遠鏡によって太陽の様子を見ることができます。											

太陽系天体のうち、天文台開館時間中に肉眼で見られる天体の見頃の時期を一週間のカレンダーのようにまとめました。黒線の期間内が見頃の時期になります。今年は6月2日の早朝にごくわずかな部分日食と12月10日に皆既月食が見られます。次の火星の見頃の時期は2012年です。今年も空を眺めましょう!

「発見! 銀河の森」- 新たな命 -

森を歩いていると倒れた木の上や切り株の上に新たな木の子供が育っている姿を目にしました。

不思議に思い調べてみると、木が密集した森の中では地面まで日光があまり入らないためなかなか若い木が育ちませんが、自然災害などで木が倒れるとそこから光が入り、若い木が育ちやすくなるようで、倒木の上に再び若い木の命が宿ることを倒木更新と呼ぶそうです。草の上に出た倒木の上は光が当たりやすいため、時折若い木が育つということのようです。亡くなった命の上に再び新たな命が芽生えるなんて、なんだかとても神秘的な光景を見つけた気がしました。(寛)



発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp